

地域コミュニティが抱えている課題、課題解決のための活性化ポイント、コミ協の協力・支援の施策項目：比較表

地域コミュニティが抱えている課題	課題解決のための活性化ポイント	コミ協の協力・支援の施策項目
①地域活動の担い手（リーダーやその後継者）の不足	<p>ア 「多様な分野に対応できる高い能力・行動力・調整力を有した」リーダーが存在していること</p> <p>イ 「地域リーダーのバックアップ体制」が確立されていること</p> <p>ウ 円滑な世代交代・後継者養成の仕組みが構築されていること</p> <p>エ 研修終了後のフォローアップ（活躍の場や機会の提供）の仕組みが構築されていること</p>	<p>A コミ協研修会に、「新しい担い手の育成、地域外の人を引き付ける魅力づくり」に関しての内容も盛り込むなど、多様な分野の研修内容とする。</p> <p>B 人材発掘のために、コミ協加盟団体の担い手候補者など、メンバーが参加しやすい研修会の開催を検討する。</p>
②地域活動への参加者の減少・固定化	<p>ア 地域住民の多様なニーズに応じた魅力的な事業が企画・実践されていること</p> <p>イ 多様な世代・国籍の人材や地域の行政機関・団体等を地域活動へ取り込んでいること</p> <p>ウ 地域の活動を地域住民に対して積極的に広報・広聴し、コンセンサスがとれた組織であること</p>	<p>A 現在、地域住民のニーズに応じて魅力的な事業を展開されている団体の企画・立案及びその実践事例をコミ協研修会で発表する。</p> <p>B 団体構成員の加入率の高い団体から、その活動内容をコミ協研修会で紹介する。</p> <p>C コミ協ニュースを活用して、それぞれの団体の活動内容等を地域住民に積極的に広報していく。</p>
③多様な地域主体との連携・ネットワークの不足	<p>ア 高い連携意識をもって活動が展開されていること</p> <p>イ 地域でどのような団体が活動しているかを把握し、その情報を共有していること</p> <p>ウ 積極的に地域内外の行政・地域団体・有識者、マスコミ等との協力体制・ネットワークが構築され、有効に活用されていること</p>	<p>A 価値を生み出す地域活動の推進は、多様な地域主体の連携強化以外にはあり得ない。そこで、コミ協の中でネットワーク体制づくりについての研修会の開催を検討する。</p> <p>B コミ協名簿の作成を継続するとともに、コミ協加盟団体の年間活動を示した事業計画書を他団体に提供することにより、団体間の連絡・情報の共有化の強化を図る。</p>
④多様な地域課題への対応力の不足	<p>ア 地域の自主性・主体性・自立性が高いこと</p> <p>イ 地域課題の発見力・解決力の基盤づくりができていること</p>	<p>A 地域住民のニーズを反映した、住みよい安心・安全な地域社会を実現するため、個人や家庭、地域が直面する課題について地域住民自らが発見、把握・共有し、相互に協力して解決することが肝要である。そのためには、まず、加盟団体のそれぞれの問題点・課題を提供し、その解決策について意見交換・グループ討論を行うことのできる場を提供する必要がある。</p>
⑤団体の組織運営・マネジメント力の不足	<p>ア 多様な団体活動を支える財政基盤が安定していること</p> <p>イ 団体事務局の組織運営・マネジメント力・企画力が高いこと</p>	<p>A 活動を進めていく上で必要な財源が、住民自身が賄うもの、公的な補助、民間団体などからの寄付や補助、収益事業になるものに大別されるが、いずれの部門も縮減傾向にある。については、コミ協が共催・後援する各種イベント等に加盟団体が出店し、収益の確保に努める。</p>
⑥情報の発信・収集・共有力の不足	<p>ア 積極的な情報を発信していること</p> <p>イ 地域活動に関する地域内での情報を共有化していること</p> <p>ウ ICTを地域活動に効果的に活用していること</p>	<p>A 年度当初に開催しているコミ協研修会または個別の担当者研修会の中で、専門家等による「情報発信の手引き」などに関するテーマを盛り込み、開催する。また、この研修会の中で公民館、地域包括支援センター、地域子育て支援センターからそれぞれの活動を紹介いただき、情報の共有を図る。</p> <p>B コミ協のホームページを「こむねっとひろしま」に立ち上げ、コミ協事務局に提供いただいている町内会や地域団体の会報をホームページに掲載し、各団体の活動内容を広く情報発信する。</p>